

## 「FUJITSU ユニバーシティの設立と取り組み」

富士通株式会社  
FUJITSU ユニバーシティ  
山村 弘

### 1. はじめに

当社は教育に熱心な会社と言われており、これまでも各部門・各職場など様々なレベルで教育に対する取り組みを行ってきました。しかしながら、当社にとって厳しい環境が続く中で、将来にわたり発展し続けるため、「人材の高度化」がFUJITSU全体の長期的・戦略的課題としてきわめて重要になっています。

このため、FUJITSU ユニバーシティを本社組織の統合組織として設立し、「業界をリードする高度人材の育成」を目的としてスタート致しました。FUJITSU ユニバーシティは、「プロフェッショナル人材の育成」、「グローバルなビジネスリーダーの育成」、「ベースライン（階層別）教育の強化」を3つのミッションに掲げ、FUJITSU NetCampus（e-Learning システム）を共通インフラとして駆使し推進しています。

### 2. FUJITSU ユニバーシティの概要

FUJITSU ユニバーシティは、事業戦略と連動した人材育成を行うために設立され、以下のような特徴を持っています。

#### (1) 全社人材育成におけるミッションの明確化

FUJITSU ユニバーシティは、次の3点を基軸として「業界をリードする高度人材の育成」を行う事をミッションとして掲げています。

お客様に高い付加価値を提供できる「プロフェッショナル人材」の育成  
ワールドワイドでグローバルレベルのリーダーシップを発揮できる「ビジネスリーダーの育成」  
長屋経営の理念を旨とする、トータルプロバイダとしての「ベースライン教育」の強化（ ）

ベースラインとは、FUJITSUのあらゆるビジネスのベースとして、全社員が習得すべきコアスキルを指します。ベースラインの強化を通じて、トータルソリューションプロバイダとして全部門が連携していくための「底力」のレベルアップを図ります。

#### (2) 教育の一元化と「場」の提供

FUJITSU ユニバーシティのもとに各教育部門を集約し、教育戦略・実行機能の一元化を図りました。これにより全社、ビジネスグループおよびビジネスユニットの事業戦略と密接に連携した人材育成を推進するとともに、カスタマフォーカスなどのコーポレート・イニシアティブ（全社的取り組み）についても、教育を起点として強力に展開しております。

また、人材育成に関わる情報全てをユニバーシティに集約し、教育を利用する方々や上司の方々に分かりやすいものとしております。さらに、教育プログラムを提供するだけでなく、教育を通じた交流や部門横断的なネットワーキングの場を設け、教育を起点としたナレッジの共有・継承・創造を推進しております。

### (3) 人事制度との連動

継続的な人材育成を図るため、教育と人事制度との連動を図ります。成果評価では、全員が能力開発目標を明確化し、幹部社員については、教育の実施に関する取り組みも評価目標に含めました。これは、幹部社員自らも講師等として率先して教育活動をリードし、人材育成を大事にする企業風土を醸成するものです。

また、等級昇級ではベースライン教育の一環として、各段階で必要となるコアスキルの教育を実施し育成の徹底を行っております。さらに、プロフェッショナル認定制度と連動して、FUJITSUが求める人材像を能力開発の指針として明示するとともに、順次、必要な教育プログラムを整備しております。

### (4) FUJITSU ユニバーシティの組織構成

FUJITSU ユニバーシティは、GKI (Global Knowledge Institute)、ビジネスカレッジ、ソリューションカレッジ、テクノロジーカレッジおよび人間力(にんげんりょく)学部の5つのユニットから構成されます。各ユニットの役割は下記の通りです。

- G K I : 次世代ビジネスリーダーの育成 (GKI プログラムの実施)
- ビジネスカレッジ : ベースライン教育等の全社共通スキル教育、各種マネジメント教育
- ソリューションカレッジ : ソリューション教育。主として営業部門、ソフト・サービス部門の教育
- テクノロジカレッジ : 技術を中心とした教育。主として事業部門の教育
- 人間力学部 : 歴史・哲学・倫理・宗教等の教養教育や人間力の育成

また、FUJITSU ユニバーシティでは、FUJITSU NetCampus を教育インフラ(“e-Learning Platform”)としております。

FUJITSU NetCampus は、ラーニングマネジメントシステムとして、現在実施中の全教育プログラムの紹介・受講申込の受付～e-Learning 受講～履歴把握に至るまでの全過程をサポートしております。

## 3 . FUJITSU NetCampus

昨今の急激な技術進展やグローバル化などに柔軟に追随し得る人材を育成するためには、学習の場所や時間の制約を大幅に軽減可能な、IT を駆使した e-Learning 環境をフルに活用する必要があります。

富士通では e-Learning を中心とした教育提供コンセプト“FUJITSU NetCampus”を創りだしました。“FUJITSU NetCampus”は、ライブのディスタンスラーニングやオンデマンドのコンテンツアクセス、セルフアセスメントなど、ネットワーク上でスピーディに学習を進めることが可能な学習環境を提供しております。

さらに、学習者間での情報共有や意見交流などを行うコミュニティの形成や、ナレッジを共有することで知識創造力を養い、また、タイムリーな QA 対応や個別フォローアップなども兼ね備えた『学びの場・情報共有の場』を提供しています。

e-Learning 導入の目的としては、一般的には教育コスト削減が主目的のように言われていますが、富士通では、この事自体よりも、教育機会の増加や内容の充実に力を入れております。

NetCampus を構成する主なコンポーネントとしては、ラーニングポータルサイトや、学習申込みから履歴把握までの学習管理を担う NetCampus/LMS (Learning Management System)、ライブやオンデマンドの遠隔学習を行う NetCampus/DL (Distance Learning)、および自席以外での WEB 学習スペースとしての NetCampus/LS (Learning Space) などがあります。

加えて、学習に関する問合せにも即座に対応し“One to One”の学習サポートを行う CCC (Cyber Consultation Center) を設ける事で、WEB 上でのタイムリーで効果的な学習支援機能をサポートしております。

	一般教室	自席	自宅	LS
集合教育		-	-	-
e-Learning	-			
ライブ	-		-	

(1) ラーニングマネジメントシステム ( NetCampus/LMS )

LMSでは、講座案内から学習申込み、e-Learningの受講、履歴把握とともに、受講生に対して教育コミュニティの提供を行い、下記を実現しております。

- ・全ての人材育成情報の集約によるニーズにマッチした教育の選択性向上
- ・イントラネットを利用したWEBでの学習申込み、e-Learning教材の受講～履歴把握
- ・先端技術教育など、全国一律に且つ、タイムリーな教育の実施
- ・BBS機能を用いた、学習者間の情報共有・意見交換を促進するコミュニティの提供
- ・学習者個人専用のページ提供による、個人単位の使いやすい機能とガイドラインの提供

(2) ディスタンスラーニング ( NetCampus/DL )

遠隔学習環境です。事務所の自席での学習が困難な方向けに個人学習コーナーを用意します。また、遠隔地間でライブによるグループ討議を可能とする、グループ討論コーナーも併せて設置していきます。これらに関しては2002年度より、国内各工場・主要拠点に展開中です。( LearningSpace・LearningPitとして展開中)

- ・ライブによる映像の一斉配信と受信
- ・ライブによる遠隔地間のグループ討議(バーチャルクラスルーム)
- ・オンデマンドによるStreamingコンテンツ配信や受信

(3) コンテンツ ( NetCampus/I-Navi )

NetCampusの学習環境では、WEBアクセスが可能なHTMLベースコンテンツに加え、多彩な映像表現が可能なStreamingコンテンツや、映像配信ツールなどによるライブ映像コンテンツの提供を強化し、学習効果向上を図っております。

また、現場ニーズに即したコンテンツの充実をはかり、各現場部門で保有する独自のコンテンツの社内流通を推進します。

(4) サイバーコンサルテーションセンター ( NetCampus/CRM )

CCCは、Cyber Consultation Centerの略称で、ネットワークをフルに活用して学習に関するあらゆる問い合わせに対応し個人/組織の支援を致します。その仕組みとしては、富士通のCRM( Customer Relation Management ) パッケージを活用しております。

時間や場所に制約されない学習形態としてe-Learningが注目され、学習の機会が飛躍的に拡大しました。富士通では、CCCが学習に関するあらゆる問合せに対応し、支援する役割を果たすことで、効果的な学習を行うことができるようにします。即ち、CCCでは、メンター機能、チュータ機能のほかに、いろいろな人材育成一般にも対応した所謂、コンシェルジュ機能もサポートしております。

受講プランに関する相談や、講座に関する問い合わせに対しスペシャリストがOne to Oneでバックアップします。さらに、e-Learningでは日々の学習進捗に対しメールやBBSで適切なアドバイスを行います。

FAQ ( Frequency Asked Question ) を充実させることで、即時に受講者自らが、問題解決する事が出来ます。

(5) スキルズマネジメントシステム ( NetCampus/SKILL )

富士通の人材育成では、全社の事業戦略に基づき、組織としての人材開発計画を建て、しいては各個人の人材育成計画に反映し、教育を受講し個々のコンピテンシーの向上を計り評価し、事業戦略に貢献するという、HRDサイクル( Human Relation Development サイクル ) を確立していきます。

その為に、「教育受講履歴」「資格情報」「スキル情報」などの情報を一元管理し、分析し、事業に活用する為のプラットフォームを構築していきます。( 現在計画中 )

このように、人材育成の中心となるプラットフォーム NetCampus システムは、当社の館林に建設された、IDC ( Internet Data Center ) に設置され、そのセキュリティと高信頼性を確保しております。

NetCampus システムは、現在、運用機でサーバ14台から構成されており、その殆どが二重化設計で構成されています。また、コンテンツを提供する、Streaming サーバは全国4箇所に分散設置されており、更にコンテンツの拡充と受講者の増大に備え、20台規模に増設する予定であります。

#### 4 . 今後の展開

以上のように、NetCampus システムは、FUJITSUユニバーシティの設立と同時に稼動しておりますが、現在、登録メンバー数は、国内で約115社、約11万人に至っております。特に、本年度からは新入社員約850人全員に対して、職場配属後の教育として NetCampus による e-Learning 教育を行っております。

多忙な中、各職場や自宅から NetCampus にアクセスする事により、各自の業務時間に応じた各自のペースで教育が受けられるという事で、効果的な教育が実施できております。

今後の NetCampus の展開としては、今年度中に国内の富士通関連関係会社を含めた富士通グループ全体への展開を行うと共に、来年度には、世界の富士通関連会社との連携を図り、グローバル規模での事業戦略に結びついた人材育成システムのプラットフォームとして展開していきます。

以 上